

## 観光社会資本の事例

テーマ	市民のシンボルとなっている「一般国道40号 旭橋」
<b>【施設の状況写真】</b>  旭橋は、旭川のシンボルとして市民の心の中に様々な思い出を刻み込んでいます。また、建設当時としては、最高の技術がふんだんに使われていることにより、誕生から70年以上たった現在も使用されていることや、北海道遺産に認定されるなど、その価値は更に高まりをみせています。 <p>北海道三大名橋のひとつとして今なお力強く美しい姿を見せている旭橋は、旭川のシンボルとして市民の心の中に様々な思い出を刻み込んでいます。また、建設当時としては、最高の技術がふんだんに使われていることにより、誕生から70年以上たった現在も使用されていることや、北海道遺産に認定されるなど、その価値は更に高まりをみせています。</p>	
<b>【施設の利用写真】</b>  ランタン灯に浮かび上がる旭橋。流れるようなラインが美しい。  花火大会では石狩川上流より眺める景観を求める人が多い。	
<b>【観光資源としての利用状況】</b> <p>旭川市内の一般国道40号石狩川に架かる「旭橋」は、多面的、複合的な活用がなされてきました。観光面でも、名橋「旭橋」は写真家の間で定番となっているほか、河川敷は人々が集えるよう整備されており憩いの場となっています。また、夏まつりでは、実行委員会と連携し、旭橋60・70周年記念行事を実施するなど、観光資源としても利用されています。</p>	

テーマ	市民のシンボルとなっている「一般国道40号 旭橋」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 一般国道40号 旭橋(あさひばし)</p> <p>○所在地 北海道旭川市常盤通3丁目</p> <p>○事業名 ー</p> <p>○事業主体 北海道(昭和27年より北海道開発局の管理となる)</p> <p>○事業期間 昭和4年～昭和7年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>中心部へのアクセス向上</p> <p>川のまちといわれる旭川は、多くの川が市内の中心部を流れ石狩川に合流しています。そのうち、旭橋のある場所は市内中心部で南北を分断している石狩川を横断しており、人口・交通量の増加した旭川の主要アクセス道路として、市民の生活を支えています。</p>	
【位置図】	
<p>【関連ホームページ】旭川道路事務所 <a href="http://www.as.hkd.mlit.go.jp/road1/asdj/index.html">http://www.as.hkd.mlit.go.jp/road1/asdj/index.html</a></p> <p>旭川夏まつり実行委員会事務局(旭川商工会議所内)<a href="http://www.ccia.or.jp/">http://www.ccia.or.jp/</a></p>	